通 信

東 京 都 立

志村学園

令和８年10月５日
東京都立志村学園
校 長　並木信治
高等部就業技術科
第 ６ 号

後期に向けて

副 校 長　西村 健

夏休みが終了し、早ひと月、日が落ちるのもだいぶ早まり、日中の風も秋を感じる季節となりました。9月後半は大型連休が二度続きましたが、台風の影響を受けることとなり、御予定の変更を余儀なくされた方もいらっしゃるのではないでしょうか。今年は、猛暑の替わりに台風や秋雨前線の活発化があり、8月ひと月の台風発生件数は 10 個を数え、1966 年8月以来 60 年ぶりの多さでした。引き続き自然災害に対して取り組みと対応をすすめてまいりますのでよろしくお願いいたします。

気になるインフルエンザウイルス感染症ですが、本校でも罹患者が出ております。インフルエンザに罹らないために大切なことは、就寝時間を守る。毎日同じ起床時間に起きる。朝ごはんを必ず食べることです。良い生活習慣を身に付け、病気に負けない体を作りましょう。また、部屋の換気、適切な手洗い、アルコール消毒を習慣化することも大切です。体調不良の症状がある場合は、無理に登校せず、自宅で休養していただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、本日より後期の授業が始まりました。後期には、様々な行事や学習が予定されています。行事では、1年生の移動教室、2年生の修学旅行、そして3年生は、江戸・東京ウォーク FINAL を実施し、学生生活最後の締めくくりを行います。予定されている行事を一つ一つ丁寧に実施し、充実した学校生活にしていきたいと考えております。学習では、1 年生の皆さんは、就業体験で仕事について理解を深めていきます。2年生の皆さんは、いよいよ自身の所属するコースが決まり、心機一転のスタートとなります。また、3年生の皆さんは、採用選考に向けた動きが本格化し、社会人となる準備が始まります。3年生は、学校生活の中で後輩の良い手本となることを期待しています。

後期に向けて教育活動のより一層の充実を目指し、教職員一同尽力してまいります。引き続き、皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

採用選考に向けて

進路指導主幹　道向　一樹

秋も深まり、高等部3年生はそれぞれの進路実現に向けた取組を進めています。企業による採用選考が始まっている生徒もいれば、応募に向けた準備を進めている生徒もおり、それぞれの目標に向かって努力を重ねています。これまでの学校生活や現場実習で学んだことを振り返りながら、履歴書の作成や面接練習に真剣に取り組む姿からは、卒業後の生活を見据えた成長と意欲が感じられます。

面接練習では、志望動機だけでなく、現場実習で努力したことや身に付けたこと、入社後に頑張りたいことについて、自分の言葉で伝えられるよう練習を重ねています。最初は緊張していた生徒たちも、回数を重ねるごとに自信をもち、相手の目を見ながら落ち着いて話せるようになってきました。

生徒たちが就職を目指す中で、働くことの意義や責任について考える機会も増えています。今年度は、東京都の最低賃金が 10 月1日から時間額 1,280 円に引き上げられます。賃金は働きに対する対価であると同時に、社会の一員として期待される役割の表れでもあります。学校では、「働く力」の育成にも引き続き取り組んでいます。

進路選択は、生徒一人一人にとって人生の大切な節目です。不安や緊張を抱えながらも将来に向けて努力する生徒たちを、学校全体で支えてまいります。一人一人の希望や適性に寄り添い、自立した生活につながる進路実現を目指します。御家庭におかれましても、日々の体調管理や励ましなど、引き続き温かい御支援をお願いいたします。

ビルメンテナンスコース

コース担当　徳岡 壮平

就業技術科ビルメンテナンスコースの3年生は、週に1回、はすのみ児童館および高島第六小あいキッズにおいて授業内実習に取り組んでいます。学校内の学習で身に付けた清掃技術を、実際に施設を利用される方々の近くで発揮することは、生徒にとって「働くこと」の意味を実感する貴重な機会となっています。

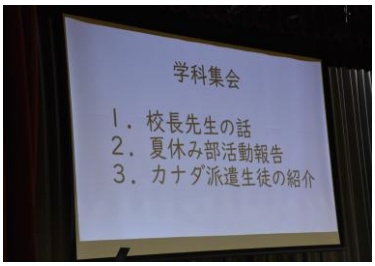
今年度は、5月から実習を開始し、児童館の窓ガラスやあいキッズへ続く階段、施設内などの清掃を通して、利用者の皆様が日々安心して過ごせる環境づくりに関わっています。児童館には、ベビーカーを押した方や小さなお子様連れの方も多く来館されます。そのため、生徒たちは単にきれいに清掃するだけでなく、周囲の安全に気を配ることや、利用される方に安心感をもっていただける立ち振る舞いの大切さも学んでいます。実習後、生徒からは「安全面への配慮を忘れず、笑顔で挨拶することを頑張りました」という振り返りがありました。この言葉から、技術の向上だけでなく、相手を意識して働く姿勢も育っていることを実感しました。

また、実際の現場で実習を経験することで、普段の生活の中でも道端のごみに気付きやすくなるなど、環境を見る視野にも広がりが見られています。

今後も、はすのみ児童館・高島第六小あいキッズでの実習を通して、清掃技術の向上とともに、利用される方の立場に立って考え、よりよいサービスを提供しようとする力を育んでいきます。

生徒主体の取組　学科集会

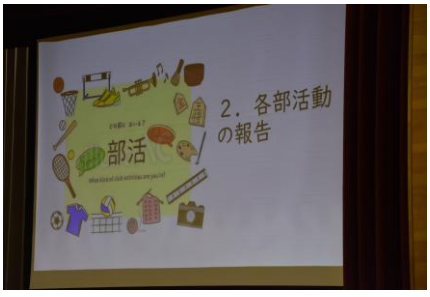
2学年学級委員会担当　宮田 一恵



9月1日の学科集会は、7月の3年生に続き、2年生の学級委員が担当しました。準備を始めた時点では、参考となる7月の学科集会をまだ見ていなかったため、生徒と担当教員で、「どうしたら盛り上がるか」「『9月から頑張ろう』という雰囲気をつくるにはどうしたらよいか」など、進め方を手探りで考えました。

夏休み前の昼休みに集まって検討を重ねました。「生徒主体」を大切にし、校長先生へのお話の依頼をはじめ、機器の準備や部活動報告についても、生徒自身が依頼の仕方を考えて行いました。全員で確認したつもりでも連絡が行き届かないことがありましたが、2年生が日頃から取り組んでいる「時間厳守」を目標に、時間配分を検討しながら司会原稿を作成し、準備を進めました。

夏季休業中は、全員で集まってリハーサルを行うことができませんでしたが、当日は役割を分担して円滑に司会進行を行い、見事な時間配分で集会を終えることができました。



学科集会終了後、先生方からお褒めの言葉をいただき、友達からも評価された生徒たちは、喜びのガッツポーズを見せていました。この経験を生かし、今後の学級委員会活動も生徒主体で進められるよう、教員は必要に応じた適切な支援に努めていきたいと考えています。